

時報

東京 明治十七年八月二十日 水曜日 第七百四十二號 日曜日休刊 定價三錢

時事新報

支那國運

文明ノ利權ハ本邦人ニ私スル者ニ非ズト雖モソノ成途ニ就
テ考フルハ亦甚ダ偏頗アルニ似タリ先ツ近代ノ世界ニ汽
電ノ力ヲ送シテヨリ舊國頓ニ衰ヘテ新國急ニ興リ大強モ
小國トナリ小國モ大強トナリテ邦國ノ運命ソノ變化ノ迅速
ナルニ至リタルハ文明ノ利權實ニ之ヲシテ然ラザルモ
ノト云フベシ蒸汽電氣ノ用開ケテ以來世界上、無形有形ノ
人事一切ニ變動ヲ受ケタルハ夥シキコトシテ人モ我モ同シ
ク其變動中ノ風波ニ捲カレタル者ナレド局部ヨリ見ルハ
人類社會ノ不幸ニ大相違アリテ一種ノ不幸ハ甚ダ以テ感
情ニ堪エザル所多シ其大體、何者ガ汽電ノ力ノ爲メニ幸福
ヲ得タルヤト云フニ即チ西洋各國ニシテ此幸福ニ反對スル
不幸福ノ國トハ汽電ノ力無クシテ文明ノ攻撃ニ抗スル能ハ
ザル邦國ナルノミ然レド文明ノ利權ハ獨リ歐米人ノ專有物
ニアラザルガ故ニ能ク採テ之ヲ使用セバ自カラ歐米國タル
モ亦難キニアラズ要スルニ文明ノ利權、汽電ノ力只コレヲ
他人ノ使用スルニ任セテ己レ則チソノ攻撃ノ衝ニ當ル邦國
ハ運命ヲ保ツコトモ亦決シテ久カクカマシキ運命ナリトス畢
竟、支那帝國ニ西洋ノ文明ガ進入スルノ趣ハ正ニ之ト同一
機ニシテ四面ノ敵ハ皆汽電ノ力ヲ以テ攻圍ノ利器トシテ
自國ハ獨リ巖然トシテ中華四千年來ノ古法ニ依頼シ以テ
此文明ノ敵ニ當ラントス傍觀人ヨリ之ヲ見ルハ其危キ言
フ許リニアラザレド當局者ハ安心シテ甚ダ氣樂ノ至リナル
ハ軍ヲシテ亡滅ヲ招ク所以ニアラザル無キヲ得ンヤ去連大
ニソノ門ヲ開テ西洋ノ文明ヲ入レントセバ目下ノ如キ頑固
無識ノ老黨ニテ組織スル支那政府ノ内閣ヲ其儘ニ持續スル
コト能ハザルベシレバ勢ヒ先ツ今ノ政府ヲ變更シテ彼ノ老黨
ヲ排セザルニ得サルナリ老黨ヲ排センカ、支那政府ハ繁レ
ザルニ得ズ、政府ヲ持続セントスルカ、西洋ノ文明支那ニ入
ル能ハズ、文明ヲ入ラザルカ、支那帝國ハ亡ビザル能ハザルナ
リ其故如何トナルニ蓋シテ支那ニ於テ北京ノ中央政府若クハ
地方ノ政廳ニアル政治家ナル者ハ百中ノ九十九、先ツ頑固
ニシテ何事モ知ルナク以テ無感覺ノ人民ヲ治メナカテ西洋
文明ノ利器ヲ採用センナドハ實ニ思ヒモ寄ラズコトニシテ又
有ラレ得マシキ次第ナレバ此老政治家ガ内閣ハ西洋ノ文
明ハ一步タリトモソノ形ヲ進メテ支那國ニ入ルコト容易ナラ
ザルベシ若ク又今ノ支那國ニテモ李鴻章ニ次ク二三ノ人
々ガ萬ガ一其勢力ヲ得テ文明ノ利器ヲ採用スルニ若手スル
トモシカ然レドハ老黨ハ與ニ朝ニ立ツ可ク今ノ政府ハ以
テ持續スル能ハザルベシガ故ニ文明進入ノ第一若クハ支
那現政府ノ覆覆アルハ必然賄賂ノ道運ナラン支那ノ現政
府ト文明ノ進入トノ相立立ス可クザル此ノ如クナレバ李鴻
章等國主義ノ徒ガ支那ノ勢力ヲ得ルノ難ハ乃チ左案案、
彭玉麟等ノ擁護黨ガ失敗シテ政府變更スルノ機ナリト雖モ
目前ノ形勢ニ於テ支那ノ運命ハ蓋シテ其危キ言

ヲ占メ勢威ヲ占メ、ソノ權甚ダ懸然タルガ故ニ文明ノ利器
種ニ支那國ニ入ルコト決シテアル可ラズ文明ノ進入既ニ支那
國ノ門前ニ拒絶セラル、以上ハ此利器ヲ利用スル西洋諸國
ガ支那ニ對シテ人ヲ愚弄スルノ舉動ヲ爲スニ何ノ俾ル所モ
無キヲ以テ自在ニ支那國ヲ苦メ其手ヲ切リ其足ヲ斷テ次第
ニ呑噬ノ慾ヲ逞セントスルニ至ルモ亦勢ノ必ラズ然レモ
ナラン然ルニ其土地ハ肥沃ニシテ山ニ礦物富ミ河ニ魚介多
ク水陸運輸ノ便モ至テ自由ニシテ怡モ是レ天然無盡藏ノ樂
土ナルカ上ニ其人民愚ニシテ其政府ハ又恐ルベキノ利器
ナクソハ簡陋結縛ナル羶場ノ世ニシテハアル可ラズトテ
世界各國ノ人民ガ其後ヲ窺察シ其一類ヲ奪テ我腹ヲ肥シ
其一二ヲ得テ我喉ヲ潤サント欲シ左ヨリ右ヨリ前ヨリ後ヨ
リ次第ニ蠶食セバ如何ニ無盡藏ノ支那帝國ヲリトモ遂ニハ
有盡藏ノ期ニ達シ尺地寸土ノ失ヲ積メテ最後ニハ其宏大數
千里ノ帝土ヲ喪フニ至ルモ亦遠キニハ非サルベキナリ噫
テ言ハハ支那國ハ猶極メテ肥大、極メテ痴鈍ナル動物ノ如
ク虎豹豺狼ノ群中ニ立テソノ監視ヲ免レント欲セバ第一ソ
ノ腦髓ト神經トヲ入替ヘ併セテ之ガ爪牙ヲ鋭利ニセザル可
ラスト雖モ四千年來生々死々相傳ヘタル身體ノ故ニ腦髓
爪牙一朝ニ變化スル能ハズテ徐々趨走スル間ニ其身ハ既
ニ憔悴ナル虎狼ノ群ニ圍マレ一身肥大ノ肉ハ寧ろ敵ノ監視
ヲ誘フノ媒トナリテ斃レテ後チニ終ル者ト云フベシ支那國
前途ノ運命實ニ氣ノ毒ニ堪エザルナリ

西洋ノ文明ヲ利用セザレバ支那帝國ノ存在難シ、文明ノ進
入ヲ許セバ支那政府覆ヘラザルニ得ズ、畢竟支那政府ヲ持
續スルニ支那帝國ノ亡滅ヲ免カレ、ソノ相立立シ能ハザル
次第ハ既ニ我輩ガ數年前洞見シタル所ニシテ此持論ハ昔
ヲ開陳ニ及ビタルトモアリシガ近來支那國外交ノ困難ヲ見
ルニ益々切迫シ重シク姿ニシテ我輩ノ持論亦甚ダ其背筋
ヲ失ハザリシヲ信ズルナリ先頃東京事件危急ニ指追リテ支
那佛蘭西將ニ交戦ニ至ラントスルノ際ニ恭親王李鴻章等支
那政府中ニテモ稍々開通ト聞エタル人々ハ一時ニ内閣ヲ罷
去テ其代ニ醇親王、左宗棠等順ニ威權ヲ占メテ内閣ニ列座
シコレガ爲メニ文明ノ進路ニハ一大開門ヲ獲ヘテ多クソノ
進入ヲ進メルト同時ニ中華尊大ノ主義盛ニナルニ至リテ倍
々今ノ政府ヲ今ノ儘ニ萬世無窮ニ持続セント勉メ文明ノ進
入ニハ復テ一步ヲモ返サザルコト知ルベキナリ然レモ其外國
トノ關係ヲ視レバ頑固老黨ノ新政府ガ權ヲ占メテ未ダ幾ナ
ラザルニ東京ニ郵傳事件出來シテ佛國ヨリ償金要求ノ談判
ヲ禁リ支那政府ノ政略運使ヲ極メルノ際、佛國ノ軍艦ハ
既ニ台灣ノ鵞鑾港ヲ乘取リ或ハ將ニ福州ヲ占領セントス
ルノ色アルカ如シ此事件ハ目下進コト、アル者ニテ其結
局如何ニ成行クベキカ佛國ヨリハ果シテ償金ト引換ヘニ欲
スルニ指限スベキカモ知レ難シト雖モ或ハ無理ニ理ヲ附
會テテ永久台灣ノ一港ヲ支那ノ版圖ニ歸シテ占領シテ前衛
ヲ設ケ門ヲ開スルガ如ク所爲ニ出ルナリトモ云フ可クゾ見

電報

○八月十九日午前九時上海發 各外國領事より上海近傍に
在る雜居の各外國人へ上海居留地を圍るべき旨を報告せり
○八月十八日龍巖發 清海總理衙門は八月十四日於て書
を各國公使に送り佛國の所行を抗議したるが蓋し平穩に此
事件の局を結ばんとの見込出でたるものと云ふ
○八月十二日廈門發 龍巖砲臺の間にツキナリ號は少しく
毀損せられたり○佛國人二名死し六名負傷せり○砲臺の取
毀ちて平地とせしより○支那人は悉く石炭を燒棄て炭坑及
び器械をも打毀しより○龍巖は現に佛人占據せる所とな
れり
○同日福州發 英國領事は領事館の文書を同國軍艦
ナヤンビオン號に移したり○當地にては日々砲擊の變ある
べしと待受け居れり
○八月十一日龍巖發 カイロにての盛んニゴルドン將軍を
救ふが爲めにナイル河畔に征師を出すの用意を爲せり○水
師提督クルーベ氏は尙ほ福州に在り佛の軍艦四艘泉港に碇
泊す
○同日廈門發 佛艦ガリンニエー及びヅキフの二艘
之八日午前八時過日の電報に五日とありしを誤りしを建艦
の砲擊を初め二時間にて去て終り砲臺は破壊され佛兵は
上陸して掠奪を恣にせり佛人之上陸の際に些少損傷を受
けたりと噂なり支那人は損傷は輕ならず淡水港にて佛人
必大に安かす
○八月十日福州發 佛人は兵を龍巖島上陸せし支那人を
退却せしより佛人の擄獲したる二名其他四名なり
○八月九日廈門發 フォヤン號は淡水港より對岸より開砲
は擄奪を擄奪せんが爲に再び砲臺に行けり當地の砲臺之
中止とな
○同日福州發 龍巖砲臺の圍を解けし
○八月八日福州發 佛兵は兵を龍巖島上陸せし支那人を
退却せしより佛人の擄獲したる二名其他四名なり
○同日福州發 佛兵は兵を龍巖島上陸せし支那人を
退却せしより佛人の擄獲したる二名其他四名なり